



発行者

諫早市立諫早中学校

校長 副校長

### 学校銘「啐啄（そったく）」

ひな鳥がかえるとき、ひな鳥は殻の中から、親鳥は外から殻をつつき、殻が割れ、一つの大切な生命が誕生します。この姿と同じように、生徒と教師が共に学び合う「共学」こそ、教育の姿勢であり目的です。本校ではこれを銘と定めています。

### ○ 合唱発表会に向けて（3年）



昨日の帰りの会終了の時間帯にふと職員室から出ると、廊下に美しい歌声が響いていました。歌声の方に向かって足を進めると、職員室から一番遠い3年7組の合唱練習の歌声でした！



教室に入り、担任の先生から話を聞くと、今日から10月の合唱発表会に向けた放課後練習をスタートさせたそうです。いち早く整列し、指揮や伴奏の生徒がリーダーシップをとり、主体的に練習を行う姿は、さすが3年生！と言えるもので感心しました。そうこうしているうちに、他のクラスからもどんどん歌声が聞こえてきて、校舎に美しい合唱が響いていました。

1・2年生の後輩にとってもよき手本となるものだと感じています。3週間後の成長が楽しみでなりません。明日からは他のクラスの練習の様子も紹介したいと思います。

### ○ あるクラスの黒板けし



左の写真は、3年生のあるクラスで使われていた「黒板けし」です。昨日、担任の先生が、新しいものに交換しようか悩んでいたのですが、もう十分に役割を果たしたとしか見えないので、新しいものを手渡しました。その先生は、「本当にいいのですか？」と非常に恐縮されていた姿が印象的でした。

その後、ゴミとして処分しようとしたのですが、「この黒板けしはどれほどの文字を消したのだろうか？」「何回、教室の黒板を美しくしたのだろうか？」などと思いを巡らせてしまい、この学校便りで紹介することにしました。また、最後まで頑張って使ってくれた3年6組の生徒にも感謝したいと思います。そして、長年頑張ってくれた「黒板けし」に「お疲れさまでした！」とってあげたいと思います。